

令和6年定例会

政策企画雇用経済観光常任委員会
所管事項説明資料

◎ 所管事項説明

- | | |
|------------------------------------|-------|
| (1) 「令和6年版県政レポート(案)」について | ・・・1 |
| | 別冊1 |
| (2) カスタマーハラスメント防止対策について | ・・・3 |
| (3) 三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本計画について | ・・・5 |
| (4) スタートアップ支援事業について | ・・・15 |
| (5) 首都圏営業拠点「三重テラス」について | ・・・21 |
| (6) 各種審議会等の審議状況の報告について | ・・・25 |

令和6年6月20日

雇用経済部



(1)「令和6年版県政レポート(案)」について

令和6年版県政レポート(案)について、冊子配付後におけるKPI(重要業績評価指標)の実績値の確定があったことから、記載内容を一部変更いたします。

※当資料では、「令和6年版県政レポート(案)(雇用経済部主担当施策等・抜粋版)(別冊1)」のページ番号を記載しています。

【施策8-1】若者の就労支援・県内定着促進

○めざす姿の実現に向けた施策の総合評価(23ページ)

<変更後>

めざす姿の実現に向けた施策の総合評価	
総合評価	評価の理由
B	<p>若者等の県内就職・定着に向けて、就職支援協定締結大学等と連携しながら支援に取り組み、若者等に対する県内企業情報等の提供を進めましたが、県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合の増加には至っていないため、就職活動を取り巻く環境の変化に対応しながら、より効果的な情報発信を行う必要があります。</p> <p>また、労働力不足の解消に向けて、地域の雇用を創出するプロジェクトに取り組むとともに、職業訓練等を実施した結果、企業のニーズに合ったスキルを身につけた若者等の人材育成・確保が進みましたが、津高等技術学校への入校者および受講者について、より一層確保に努める必要があります。</p>

<変更前>

めざす姿の実現に向けた施策の総合評価	
総合評価	評価の理由
B (見込)	<p>若者等の県内就職・定着に向けて、就職支援協定締結大学など関係機関等と連携しながら支援に取り組んだ結果、若者等に対して県内企業情報や就労支援情報等の提供が進み、県内企業で働く若者がやや増加しました。</p> <p>また、労働力不足の解消に向けて、地域の雇用を創出するプロジェクトに取り組むとともに、職業訓練等を実施した結果、企業のニーズに合ったスキルを身につけた若者等の人材育成・確保が進みました。</p> <p>一方、就職活動のオンライン化や保護者の関与の高まりなど、就職活動を取り巻く環境の変化に対応した支援を行うとともに、県内企業情報等が十分に周知できていない転職潜在層に対して効果的な情報発信を行う必要があります。</p>

OKPI（重要業績評価指標）の達成状況と評価（24 ページ）

「県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合」

<変更後>

2. KPI(重要業績評価指標)の達成状況と評価							
KPIの項目							関連する基本事業
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の 評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合							①③
—	45.5%	46.6%	91.6%	47.7%	—	50.0%	b
43.5% (2年度)	43.5%	42.7%		—	—	—	

<変更前>

2. KPI(重要業績評価指標)の達成状況と評価							
KPIの項目							関連する基本事業
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の 評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合							①③
—	45.5%	46.6%		47.7%	—	50.0%	未確定
43.5% (2年度)	43.5%	未確定		—	—	—	

(2) カスタマーハラスメント防止対策について

近年、顧客や取引先からの不当な要求等の著しい迷惑行為「カスタマーハラスメント」が増加しており、労働環境の悪化や人材の流出、従業員の心身への影響をもたらすなど、大きな社会問題となっています。

国における法改正や東京都の条例制定にかかる動きなどがあるところです。

カスタマーハラスメントの発生を社会全体で防止し、県内で働く労働者の尊厳を守るために、条例制定や具体的なカスタマーハラスメント防止対策について検討を行います。

1 検討概要

(1) 実態調査

県内におけるカスタマーハラスメントの実態を把握するため、県内労働者と企業を対象にしたアンケート調査を実施しています。

(調査期間)

5月末から7月中旬

(2) 検討体制

① 庁内における推進本部の設置

知事をトップとした庁内推進本部を設け、県内におけるカスタマーハラスメント防止に資する取組の検討を行います。

② 懇話会の設置

カスタマーハラスメント防止対策について検討するにあたり、各分野の有識者等からなる懇話会を設置し、幅広い意見を聴取します。

2 当面のスケジュール

懇話会での意見や国の法改正の動きをふまえ、実効性のあるカスタマーハラスメント防止対策及びその方向性について検討を行います。

令和6年7月 推進本部会議 (年度内に3回程度開催)

8月 懇話会 (年度内に3回程度開催)

令和7年2月 防止対策の方向性のとりまとめ

(3) 三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本計画について

1 これまでの経緯

(1) 三重県工業研究所について（参考資料1～3）

三重県工業研究所（以下「工業研究所」という。）は、県内企業が抱える様々な分野の技術課題・ニーズに対し、保有機器や研究者の知見を活用し、相談や助言、試験を実施するとともに、研究開発に取り組むなどの技術的支援を行う公設試験研究機関です。

現在、津市にある通称「本所」の他、「金属研究室」（桑名市）、「窯業研究室」（四日市市）、「窯業研究室伊賀分室」（伊賀市）と、県内には計4か所の拠点があります。職員数は、研究職をはじめ60名以上が在籍しています。

工業研究所が実施する企業支援のメニューは、①技術相談、②機器開放、③依頼試験、④技術支援、⑤共同研究、⑥受託研究、⑦人材育成など多岐にわたります。

また、エネルギー技術、電子機械技術、ものづくり技術、食と医薬品技術、金属技術、窯業技術など、様々な分野の研究職員が在籍しており、企業の要望・ニーズに応じて柔軟に対応しています。平成29年度からは、地域企業や大学・高等専門学校等とともに設立した「みえ産学官技術連携研究会」を基盤とするネットワーク体制も構築しています。

(2) 課題と対応

現在、DX（デジタル・トランスフォーメーション）やCN（カーボンニュートラル）等の分野横断的な新しい産業界のニーズのほか、老朽化が著しい施設や雨漏り等による試験機器への影響等への対応が求められています。

こうした現状を踏まえ、新しい時代を見据えた工業研究所の機能強化と施設整備を進めるべく、令和5年度に「三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想」を策定したところです。（参考資料4）

<基本構想の概要>

◆ 工業研究所の機能強化・施設整備方針

- ・北勢拠点(四日市市)は、金属・窯業等をはじめ製造技術全般にかかる「ものづくりの総合拠点」として再整備
- ・中南勢拠点(津市)は、全県分布する食品等の分野や県庁・産業関係団体・三重大学等との連携への対応をふまえ、本所機能を有する「連携の総合拠点」として再整備
- ・ものづくり全般に共通する基盤的技術、DXやCN、AI等の分野横断的なテーマにかかる機能は、両拠点に配置
- ・再整備を行わない金属研究室(桑名市)と窯業伊賀分室(伊賀市)の今後

の活用は、県全体のものづくりにかかる技術支援のあり方を具体化する中で、工業研究所に求められる役割や県有財産の有効活用等の観点
をふまえて検討

◆関係機関との連携

- ・工業研究所が担う技術面に加えて、経営面や人材育成面等を含む総合的な企業支援に取り組む観点から推進
- ・北勢拠点(四日市市)：三重県産業支援センター北勢支所等との一体的な運営
- ・中南勢拠点(津市)：産業関係団体や三重大学等との連携強化
- ・津高等技術学校との一体的整備(中南勢拠点-津市)：施設・スペースの共用化等の効率化と併せて、工業研究所による技術支援と津高等技術学校による人材育成の両面から企業支援に取り組むことで、産業振興拠点としての機能・プレゼンスの向上を期待

2 基本計画について

昨年度に策定したビジョンとなる「基本構想」を踏まえ、本年度中に「基本計画」を策定予定です。

基本計画は、設計・工事の根幹となるもので、建築場所や施設の配置・機能等の案を示す予定です。

<基本計画の骨子>

- ①基本構想に基づく2拠点(津市、四日市市)における企業支援機能強化の具体的な方針・内容の検討
- ②津高等技術学校の役割と機能及び施設整備の基本的な考え方の整理
- ③施設整備計画の策定
- ④維持管理・運営に係る基本方針の策定
- ⑤組織の運営方針の提案
- ⑥事業手法・整備手法の検討
- ⑦概算事業費の算定
- ⑧事業工程等の検討

3 今後の予定

基本計画の検討状況は、今後の常任委員会等において報告・説明いたします。また、策定に当たっては、工業研究所や津高等技術学校と密に連携し、必要に応じて、関係市町や関係団体との意見交換を行います。

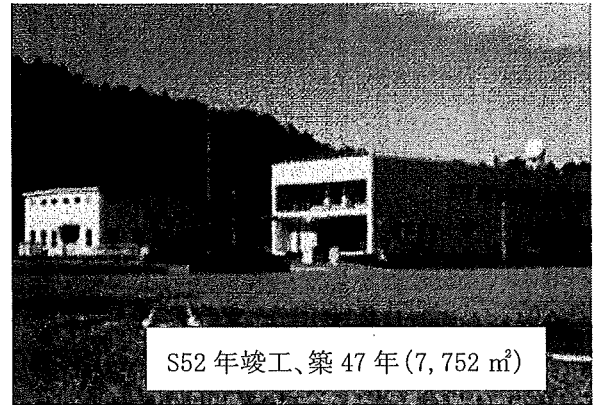
令和6年12月 政策企画雇用経済観光常任委員会(中間案)
パブリックコメント実施

令和7年3月 政策企画雇用経済観光常任委員会(最終案)

工業研究所の施設配置について

○津、桑名、四日市、伊賀の4拠点

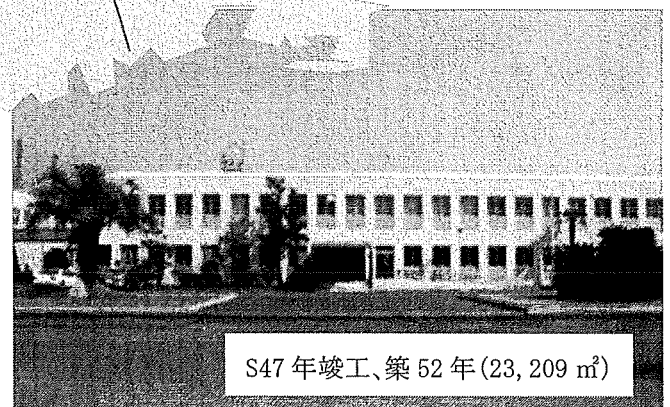
金属研究室
(桑名市大字志知字西山 208)



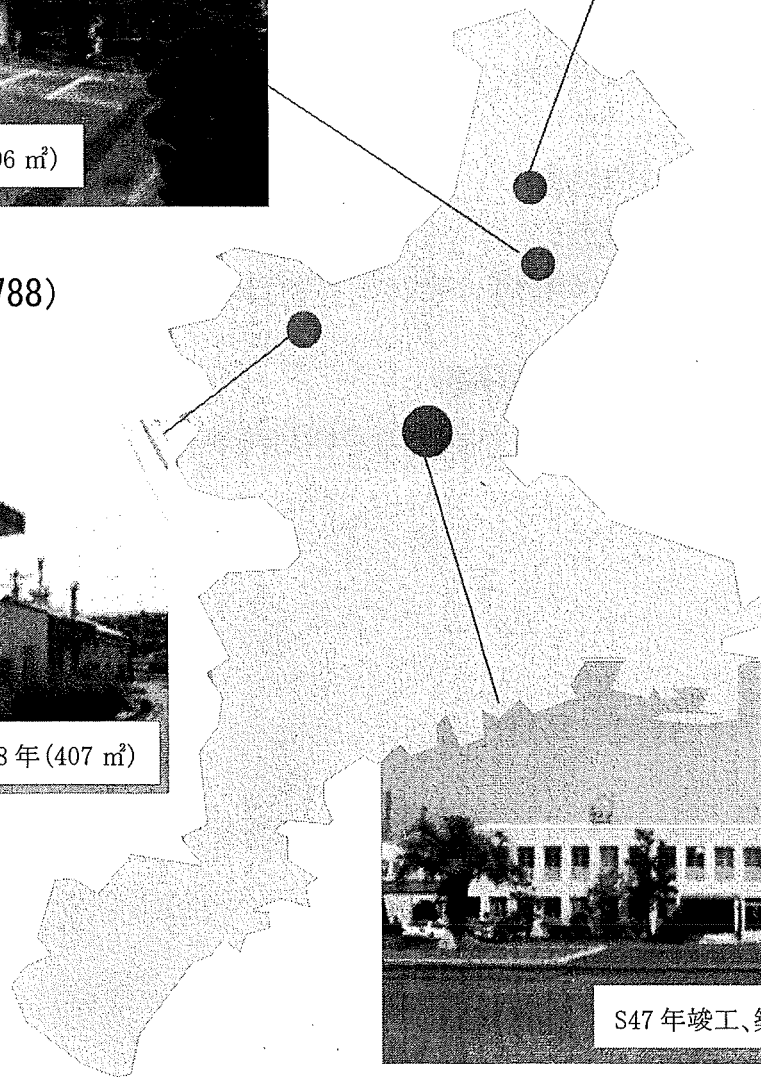
窯業研究室
(四日市市東阿倉川 788)



窯業研究室伊賀分室
(伊賀市丸柱 474)



工業研究所 (通称「本所」)
(津市高茶屋 5-5-45)



[工業研究所 4拠点]

職員計 66 名 (うち研究担当 48 名(博士号取得者 16 名)) ※R6 年 4 月現在

・工業研究所 (通称「本所」) 津市

41 名 (研究担当 31 名)

企画調整課 : 予算、経理、庶務

プロジェクト研究課 : 技術支援・人材育成業務の運営管理、国プロジェクト研究等

エネルギー技術研究課 : エネルギーの貯蔵・変換材料の試験研究開発

電子機械研究課 : 電子機器、医療・福祉用具の試験研究開発

ものづくり研究課 : 汎用機械、金属・樹脂・コンクリート材料の試験研究開発

食と医薬品研究課 : 県産酒、食品、医薬品の製剤の試験研究開発

・金属研究室 桑名市

11 名 (研究担当 7 名)

金属研究課 : 県産鋳物製品、金属材料の試験研究開発

・窯業研究室 四日市市

11 名 (研究担当 8 名)

窯業研究課 : 県産陶磁器製品(萬古焼)、耐熱土鍋用原料・セラミックス材料の試験研究開発

・窯業研究室伊賀分室 伊賀市

3 名 (研究担当 2 名) : 陶磁器原材料や伊賀焼製品の試験研究

工業研究所の企業支援メニューの概要

【技術相談】

企業からの製品開発・品質管理・試験方法等に関する技術的課題の相談に対し、電話・メール・面談等で対応（無料）。

【機器開放】

企業の技術開発・新製品開発・品質管理等に必要となる分析・加工・評価にかかる機器を、時間単位で開放（有料）。

【依頼試験】

企業が必要とする材料・製品等の性能・品質・成分等に関する試験・測定・分析を、工業研究所研究員が実施し、試験成績証明書を発行（有料）。

【技術支援】

機器開放・依頼試験のみでは解決が困難な課題に対して、一定期間にわたり、技術アドバイス、技術提供等の総合的な手法により解決を図る（一部有料）。

課題解決型と技術者育成型の2種。

【共同研究】

企業等の研究開発課題に対して、企業と工業研究所が役割分担して研究を実施（原則有料）。

- ・ニーズ対応型：企業の課題解決を目的とした研究。課題解決型と産業廃棄物等活用型の2種。
- ・シーズ促進型：研究所の独自シーズ（機器活用等を含む知見）を基に、研究開発を加速・発展させることを目的とした研究。

【受託研究】

企業等からの依頼に応じて、工業研究所研究員が専門知識やノウハウ、研究所の設備機器を活用して研究を実施（有料）。

【人材育成】

技術研修講座や出前講座等により、企業の技術人材を育成（一部有料）。

工業研究所の企業支援実績の状況について

		R1	R2	R3	R4	R5	
技術的支援	技術相談受付件数	3482	3731	3215	4385	5541	
	開放機器利用件数	2478	2099	1766	1941	2079	
	依頼試験実施件数	5058	4765	5140	7225	8491	
	共同研究実施件数	26	21	27	21	18	
	技術支援実施件数	45	40	41	40	40	
	小計	11089	10656	10189	13612	16169	
	技術支援（人材育成型）実施件数 ※	-	-	-	16	25	
	企業訪問件数	291	283	250	423	515	
	競争的研究資金獲得件数（補完研究、アドバイザー含む）	8	6	7	4	10	
	技術開発補助金等申請ブラッシュアップ件数 （うち採択件数）	28 (20)	48 (24)	24 (11)	26 (16)	13 (9)	
人材育成	基盤技術研修講座						
※	}	開講数	7	7	6	6	6
		延べ参加人数	53	42	42	48	104
	}	対象機器数	11	11	10	-	-
		開催回数	13	7	6	-	-
	}	延べ参加人数	21	10	9	-	-
		開催回数	7	1	7	-	-
	}	延べ参加人数	206	35	283	-	-
	成果指標	工業研究所の支援により達成された製品化・事業化件数 *	1	5	5	5	5
	* 工業研究所の技術的支援により事業化や製品化に至った件数を主たる評価指標として位置付け						
※ R4年度から技術支援（人材育成型）へ移行							

工業研究所の施設老朽化の現状（ひび割れや雨漏り等）について

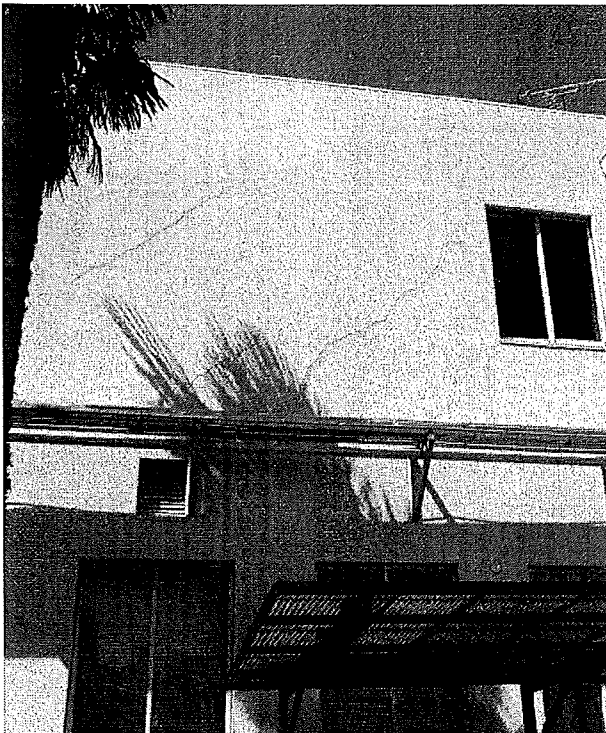
※写真はすべて津市の工研本所

1 施設のひび割れ

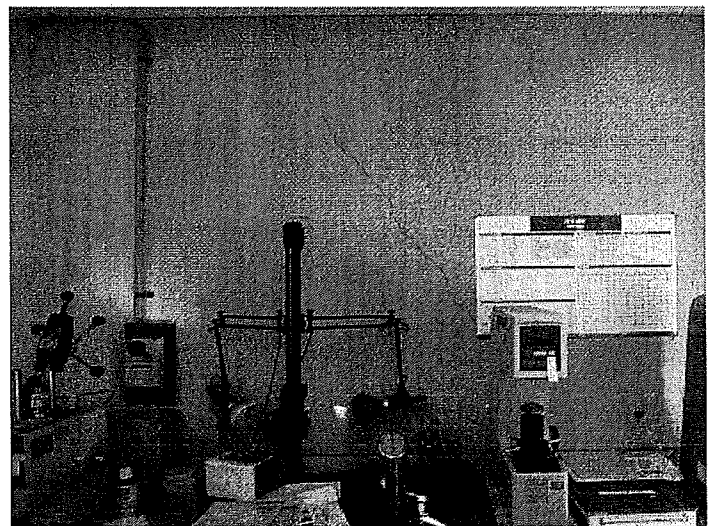
壁のひび割れ等による修繕の必要な箇所は、316カ所存在する（令和2年9月現在）

工業研究所（本所） 294カ所、金属研究室（桑名） 12カ所

窯業研究室（四日市） 8カ所、伊賀分室（伊賀） 2カ所 計 316カ所

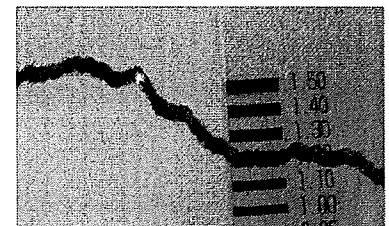


外壁の大きな亀裂



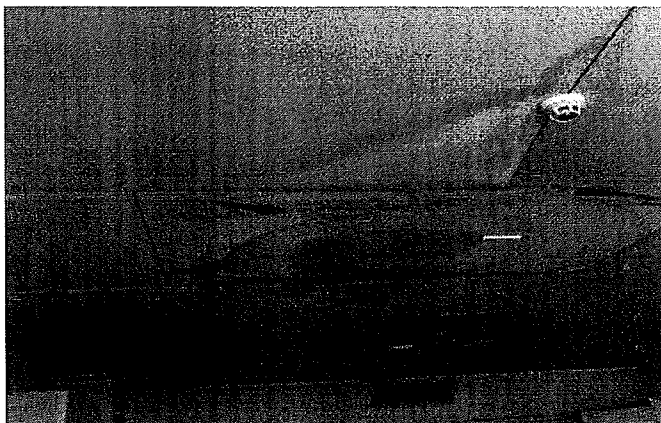
室内の亀裂

幅2~3mmの箇所も



2 雨漏り

経年劣化により、全棟屋根に防水不良箇所があり、雨天時は桶を置いて対応している。また、雨漏りのひどい箇所は天井石膏ボードが落下している。特に風雨がひどい台風時等は、サッシ窓の防水が機能していないため、翌朝、職員は出勤したら事務室内をモップ掛けしてから業務を行っている。

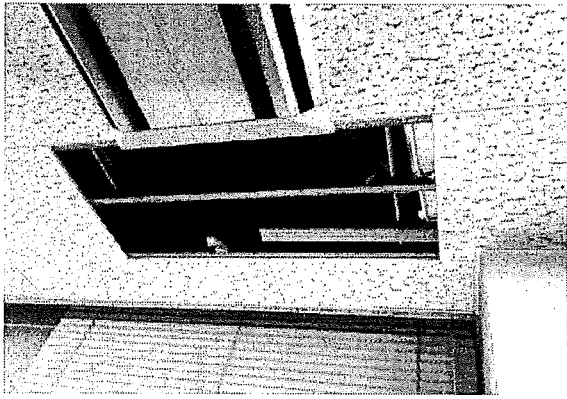


ものづくり棟 2F医薬品研究室



バイオ棟-食品加工棟 2F 渡り廊下

※写真はすべて津市の工研本所



食品加工棟 2F 製造実験室



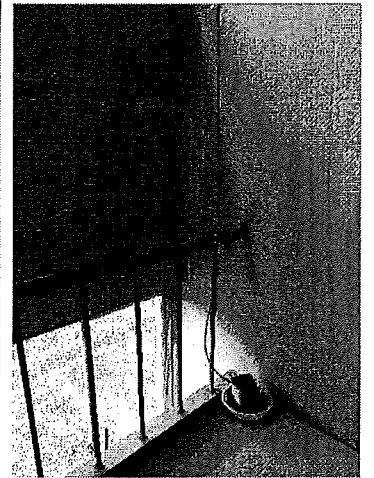
ものづくり棟 1F 文献資料室



1F 廊下



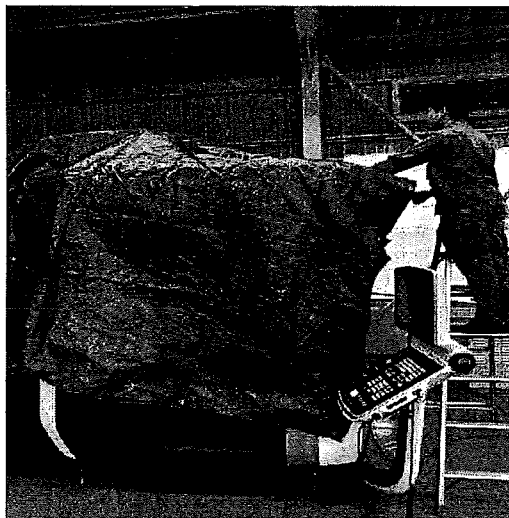
ものづくりエネルギー棟



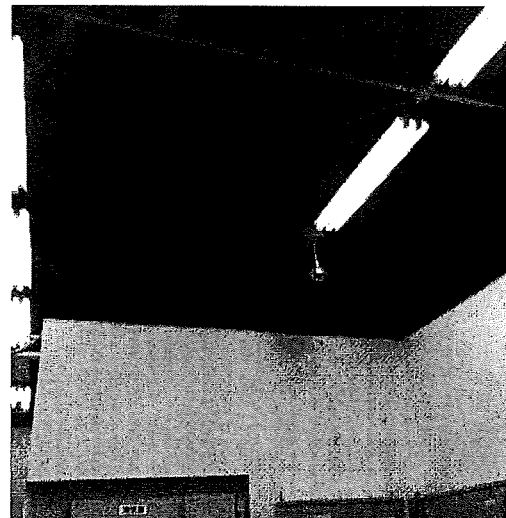
2F 階段踊場

また、機器に対する雨漏り対策として、現状ではブルーシート等で覆ったり、軽量の機器は移動させたり応急的な対応となっている。放置すれば高額機器や利用頻度の高い機器が故障する危険性が高く、利用企業に対しサービスの低下になる。

高額機器〔ハイブリッド成形機・約 3000 万円、振動試験機・約 500 万円、5 軸加工機・約 2500 万円 (DMG 森精機寄贈品) など〕の損害が想定される。



機械加工棟 5 軸加工機 (DMG 森精機寄贈)



ものづくり棟 1F 電波暗室

「三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想」の概要

背景

(第1章 基本構想策定の経緯、第2章 工業研究所の現状と課題)

- ▶ 三重県工業研究所は、企業の抱える技術課題・ニーズに対し、技術的支援を行う公設試験研究機関。津市にある通称「本所」の他、「金属研究室」(桑名市)、「窯業研究室」(四日市市)、「窯業研究室伊賀分室」(伊賀市)と、県内に計4カ所の拠点を置く。
- ▶ 近年のDX(デジタルトランスフォーメーション)やCN(カーボンニュートラル)といった分野横断的な新しい産業界のニーズへの対応、老朽化が著しい施設や雨漏り等による試験・測定機器への影響などへの対応が求められている。
- ▶ そのため、数十年後の将来を見据えた、新たな工業研究所の機能強化や拠点整備の方向性等を描く「三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想」を策定。

工業研究所に求められる役割

(第3章 三重県の製造業の産業構造と将来展望、第4章 県内企業・業界団体の声、第5章 他県の試験研究機関の取組、第6章 有識者意見交換会の内容)

<三重県の製造業の産業構造と将来展望>

①現在の産業構造と特徴

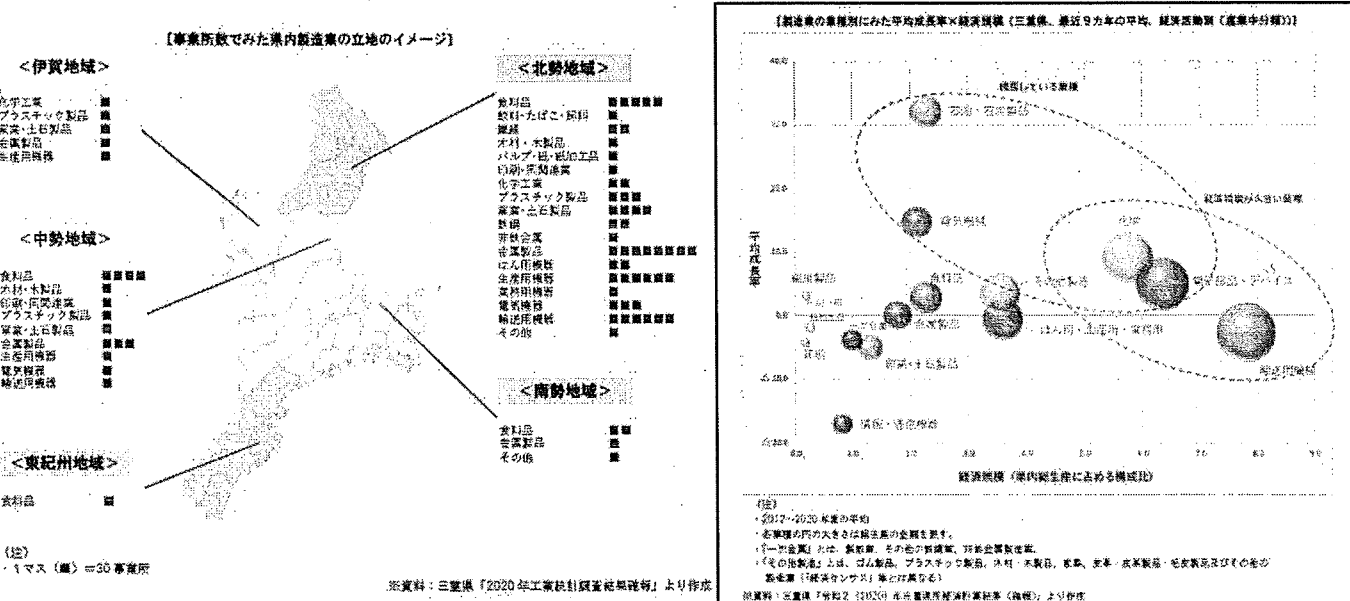
- ・製造業の比重が一貫して大きく、昭和40年代は化学、昭和50年代は輸送用機器、平成は電気機器、電子・デバイス・情報通信機器等へと、牽引業種が変遷。
- ・三重県全体の産業構造としては、北勢地域では「金属製品」、「輸送用機器」、「生産用機器」、中南勢・東紀州地域では「食料品」、伊賀地域では「プラスチック製品」「化学工業」の比重が大きく、地場産業(工業系)は、鋳物、陶磁器、清酒、形紙、くみひも等が地域に分布。

②今後の発展が期待される分野

- ・製造業が引き続き牽引役を果たすものの、DXやCNへの対応、人手不足に対応するAI・ロボットの開発・利用などが期待。

<県内企業等の声や他県の動向等>

- ・県内の製造業等へのアンケート、人口規模や産業構造が三重県と類似している岐阜・栃木県の公設試験の調査、学識経験者や産業関係団体等から構成される有識者会議などを通じて、工業研究所に求められる役割などを把握。



工業研究所のあるべき姿

(第7章 工業研究所のあるべき姿)

工業研究所のコンセプト：「地域を支えるものづくりパートナー」

地域企業への総合的な技術支援の拠点として、将来の産業構造の変化を見据えながら、幅広い技術課題やニーズにきめ細かく対応し、三重のものづくりをサポートします。

<機能強化の方向性>

- ・基幹・地場産業や成長産業への技術支援の強化、新しい技術分野にも対応できるよう、人材や設備・機器を適切に配置。
- ・製造業の立地状況や産業構造の変化を十分にふまえながら、数十年後の将来を見据えた支援機能の強化を図る。
- ・さまざまな産業分野の技術課題の解決に向けて横断的にきめ細かく支援できる組織体制とする。
- ・幅広い主体との連携により、効率的・効果的な技術支援サービスを提供する。

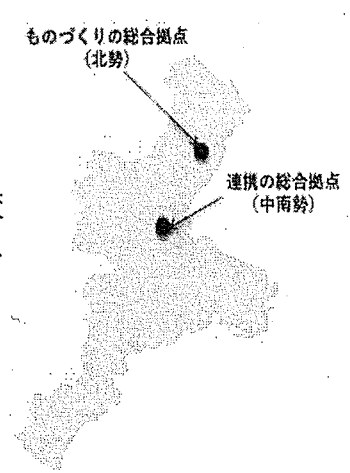
<具体的方針>

- ① 企業ニーズに的確に応えるとともに、基幹・地場産業や成長分野に対する支援体制を強化し、三重県の経済発展や科学技術の振興に貢献。
- ② 企業とのコミュニケーションや、研究成果の情報発信の機会を増やし、幅広い産業分野の新技术や新商品の開発を支援。
- ③ DX・CNといった分野横断的なテーマに対して、先導的に取り組み、時代に合わせた企業の変革をサポート。
- ④ 技術者育成を積極的に支援し、企業の人材育成に貢献。
- ⑤ 産学官連携をはじめ、多様な主体と連携することにより、地域における多面的な企業支援につなげる。

具体的な方向性

(第8章 拠点見直しの方向性)

- ▶ **北勢拠点(四日市市)**
 - ・金属・窯業等をはじめ製造技術全般にかかる「ものづくりの総合拠点」として再整備
- ▶ **中南勢拠点(津市)**
 - ・全県分布する食品等の分野や、県庁・産業関係団体・三重大学等との連携への対応をふまえ、本所機能を有する「連携の総合拠点」として再整備
- ▶ ものづくり全般に共通する基盤的技術や、DXやCN、AI等の分野横断的なテーマにかかる機能は、両拠点に配置
- ▶ **他機関との連携**は、工業研究所が担う技術面に加えて、経営面や人材育成面等を含む総合的な企業支援に取り組む観点から推進
 - ・北勢拠点(四日市市)：三重県産業支援センター北勢支所等との一体的な運営
 - ・中南勢拠点(津市)：産業関係団体や三重大学等との連携強化
- ▶ **津高等技術学校との一体的整備(中南勢拠点-津市)**
 - ・施設・スペースの共用化等の効率化と併せて、工業研究所による技術支援と津高等技術学校による人材育成の両面から企業支援に取り組むことで、産業振興拠点としての機能・プレゼンスの向上を期待
- ▶ **金属研究室(桑名市)と窯業伊賀分室(伊賀市)**
 - ・再整備を行わない金属研究室と窯業伊賀分室の今後の活用は、県全体のものづくりにかかる技術支援のあり方を具体化する中で、工業研究所に求められる役割や県有財産の有効活用等の観点をふまえて検討



(4) スタートアップ支援事業について

1 現状

国は、スタートアップが社会的課題を解決し持続可能な経済社会の実現に寄与するという考えから、令和4年を「スタートアップ創出元年」とし、同年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を公表しました。

本県においては、地域課題の解決や地域経済の活性化のため、令和5年8月にスタートアップの更なる支援を充実させるため、産学官金の関係機関（県内29市町含む49機関）が参画する「みえスタートアップ支援プラットフォーム」を設立しました。

引き続きプラットフォームとスタートアップとの連携を進めるとともに、スタートアップの成長段階に応じた支援に取り組んでいます。【別紙参照】

2 スタートアップ支援の取組

(1) みえスタートアップ支援プラットフォーム

令和5年8月のプラットフォーム設立後、スタートアップの創出・成長に必要な事業環境や資金調達方法、支援のノウハウなどについて学ぶイベントを開催（計3回）し、スタートアップとプラットフォーム参画機関の交流を促進しました。

令和6年度は、スタートアップ等からの相談に対応し、プラットフォームに参画する支援機関や金融機関等につなぐワンストップ窓口を新たに設置します。

また、スタートアップの発掘や伴走支援の実施、定期的なイベント開催によるネットワーク構築支援に取り組むとともに、SNS等を活用したスタートアップ支援施策の情報発信等にも取り組みます。

あわせて、スタートアップ支援機能の充実に向けて、金融機関や民間の創業支援事業者等にも働きかけていきます。（令和6年5月末現在の参画機関数：77機関）



(2) 事業計画の磨き上げ支援（アクセラレーションプログラム）

スタートアップ創業予定者や新たな事業展開をめざす県内企業（第二創業）に対し、事業計画の策定に必要なノウハウの提供や事業計画の磨き上げ、起業経験者による面談・助言等を行い、出口戦略の策定までの支援に取り組みます。

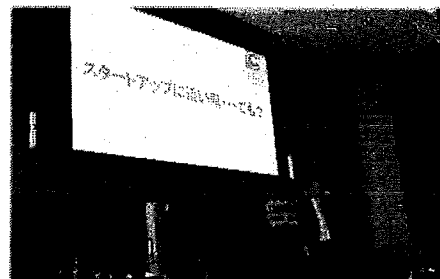
令和5年度は、営農型太陽光発電を活用した付加価値の高い農産品栽培や、飲料生産過程で発生する副産物を再利用した食品の開発等、地域の資源や自社の強みを活用した独創的な事業が生まれています。

令和6年度は、7月からプログラム参加者を募集し、ワークショップで先輩経営者から助言を受ける等の事業計画の磨き上げを実施し、3月の成果発表会で事業計画のプレ

ゼンテーションを行う予定です。事業終了後もプラットフォーム参画機関等と連携し、事業化に向けて必要な販路開拓、実証試験、資金調達等に対する継続的な支援を進めます。



ワークショップの様子



成果発表会の様子

(3) オープンイノベーション推進事業

新たな事業展開や自社の課題解決をめざす県内企業と先進的な技術・ノウハウを有する県内外のスタートアップ（パートナー企業）によるオープンイノベーション（事業共創）の取組を支援しています。

令和5年度は、県内企業3社とスタートアップ（パートナー企業）3社が事業共創に取り組み、AIを活用した品質保証業務の効率化、てこの原理を活用して介護現場の負担を軽減する新製品の開発（下図）、グラスウール素材と緩衝材を組み合わせた新断熱素材の開発といった3つのプロジェクトにつながりました。

令和6年度においても、県内企業（現在募集中（4社採択予定））とスタートアップ（パートナー企業）とのマッチングを行い、事業共創が円滑に進むように伴走支援し、年度末には成果発表会の開催を予定しています。

【プロジェクトの一例：県内介護事業者×県外スタートアップ】

※膝を支点としたテコの原理によって、介護者の体重で被介護者が持ち上がり、3Stepで簡単に移乗させることができる介護用品の開発。



(4) スタートアップ支援補助金

独創的な事業を県内で展開しようとするスタートアップ等を支援するため、新たなビジネスモデルの検証や新製品・サービスの実証に必要な経費に対する支援を行います。

令和5年度は、3事業者(表1)を採択し、補助金の交付に加えて、融資・出資による資金調達先、将来的な顧客、事業共創の候補となる事業者の紹介などによる伴走支援を行った結果、プラットフォームに参画する金融機関からの資金調達を予定するなど、事業の展開につながっています。

令和6年度については、現在、申請者の募集を行っているところであり、昨年度同様に採択した事業者に対して、補助金の交付に加えて必要となる伴走支援に取り組みます。

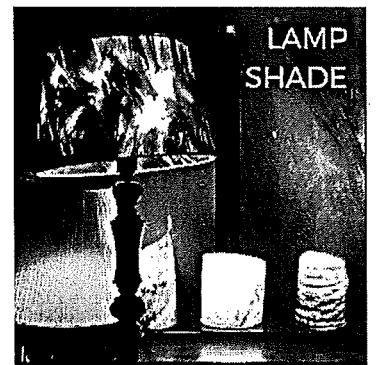
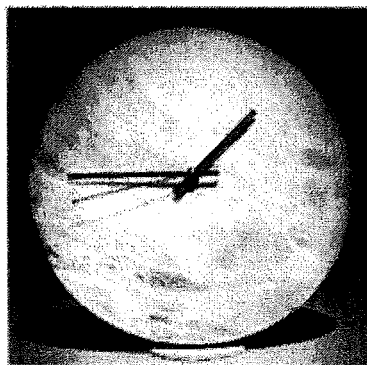
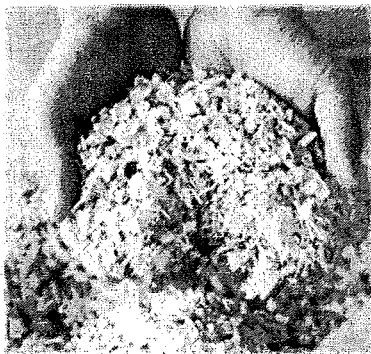
(令和6年度補助事業の概要)

1. 募集期間：令和6年5月21日(火)～6月28日(金)
2. 補助率(補助上限額)：2/3以内(300万円)
3. 採択件数：4件(予定)

表1 令和5年度の採択事業者

会社名	事業概要
F-ZERO 株式会社	① トラックのEV コンバート ② 物流企業向けカーボンオフセット
株式会社 blank marketing & management	富裕層向け旅行一括手配アプリの構築(ヘリやプライベートジェット、ハイヤー等を一括で予約可能)
株式会社 REMARE	廃棄(海洋)プラスチック循環システムの構築

【採択企業の一例：株式会社 REMARE】



回収・加工した海洋プラスチック

商品開発事例(左：時計、右：ランプ)

3 今後の展開について

引き続き、スタートアップの成長過程における課題の把握を行い、それに合わせたプラットフォーム支援機能の拡充に努めることで、新たなスタートアップが次々と生まれ、自律的に成長・循環する事業環境の構築をめざします。

成長段階における支援メニュー



- 上場
- 事業売却

事業安定期

- 事業モデル確立
- 上場 (M&A) 準備

事業拡大期

- 一定の顧客獲得
- 単月黒字化

事業化期

- 製品発表
- サービス開始

創業初期

- ニーズ検証

創業最初期

- アイデア検証

起業前

- 起業準備
- 事業アイデア創出

組織	1名	~2名	3~5名程度	10~20名程度	20~40名程度	50名程度	50名~
資金	自己資金準備	自己資金 (~500万円)	500~3,000万円程度	3,000万円~1億円程度	1~10億円程度	10~50億円程度	50億円~
調達先	自己資金 等	自己資金	ベンチャーキャピタル (VC) 等				一般投資家

(1) みえスタートアップ支援プラットフォーム運営事業

(2) アクセラレーションプログラム

(3) オープンイノベーション推進事業

(4) スタートアップ支援補助金

別紙

事業安定期に向け、VCからの資金調達や事業会社とのオープンイノベーションによる連携等をプラットフォームフォームにおいてサポート

(5) 首都圏営業拠点「三重テラス」について



三重テラスの運営状況について (3月~5月)

平成25年9月のオープン以来の来館者数累計は、令和6年5月31日現在で、5,564,603人です。

首都圏営業拠点「三重テラス」は、三重の豊かな自然・歴史・文化・食など、様々な魅力発信の拠点として、また、首都圏と三重県の関係者が交流しつながらる場として、コワーキングなどの新たなサービスや機能を追加し、令和5年9月16日にリニューアルオープンしました。

■1階ショップ

- 通路幅を広く取り、ゆとりを持って商品を見ることができる開放感のある空間において、食品や工芸品等の県産品を品揃えするとともに、季節に合わせたテーマで旬の商品をディスプレイし、多様な三重の魅力をアピールします。
- ショップ入口に対面販売やテストマーケティングを行うポップアップコーナーを設け、事業者が直接お客様に商品の背景やストーリーを伝えるとともに、県産品のブラッシュアップや販路拡大につなげます。

> 季節のテーマ「4月:桜・花見」



【お客様の声】

季節感のある商品は、手土産やギフトにも使いやすい

> 対面販売



【事業者の声】

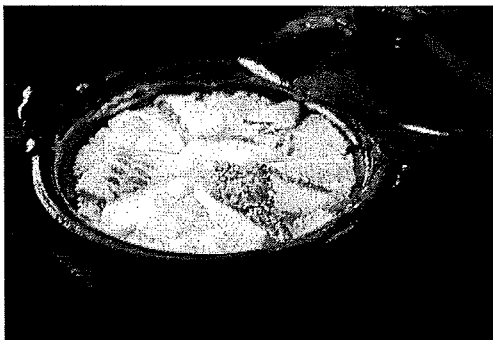
価格や量などに対するお客様の声の商品づくりの参考になった

■1階レストラン

- 県内各地の郷土料理をアレンジするなど、オリジナルメニューにより旬の県産食材や地域の食文化の魅力を体感する飲食を提供します。
- カウンターテーブルを新たに設置し、料理人がお客様とコミュニケーションを取りながら、食材の産地やストーリーなど食の魅力を伝えるとともに、事業者等と連携して食のイベントを定期的開催します。

> 春のコースメニュー

「伊勢まだいと筍の土鍋ごはん」

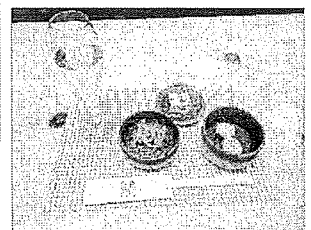
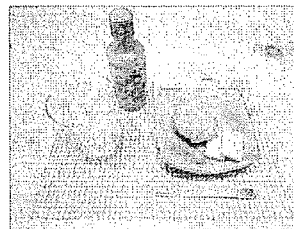


【お客様の声】

美味しいから友達にも勧められる

> 新カフェメニュー

ショップの「お菓子セット」
お酒と楽しむ「おつまみセット」



【お客様の声】

レストランで食べた商品をショップで買えるのがよい

■2階コミュニティスペース

○市町や事業者等のイベント開催の場として引き続き活用するとともに、ショップやレストランと連携し、季節や県内のトピックスに合わせたイベントの開催など、全館一体で三重の魅力を発信します。
○三重県ゆかりの方や三重に関心を持つ方など、三重ファン等が継続的に集い、交流を深めることでコミュニティを形成します。

➤ ふるさと南伊勢PR活動(4月)

- ・南伊勢町立南島中学校3年生が、これまで学んだ「ふるさと学習」の集大成として、修学旅行で首都圏の方々へ南伊勢町をPR
- ・自分達で制作したPR動画の展示や地元製品の試食・販売会を開催



➤ 日本酒利き歩き2024(4月)

- ・全国から50以上の酒蔵が参加し、日本橋エリアの飲食店などを巡りながら、利き酒と食を楽しむイベント
- ・三重テラスからは、大田酒造、宮崎本店が参加



➤ 三重県まるごと体験in三重テラス(5月)

- ・子どもたちが三重県の魅力をまるごと体感できるイベント
- ・世界遺産登録20周年記念熊野古道伊勢路クイズラリー、ヒノキのボールプール、手裏剣ゲームなど



➤ 「三重テラス部活動」

- ・三重ファンが興味のあるテーマで、一緒に学び遊びながら交流するプロジェクト
- ・「日本酒部」「スイーツ部」「エシカル・アクション部」「みえみかん部」「アクティブレスト部」が活動
- ・「みえみかん部」「スイーツ部」のコラボ企画(5月)
- ・新たに「ビール部」発足(5月)



TOPICS

能登半島地震復興支援

➤ 「三重テラス大試食会」(3月23日~24日)

令和6年3月9日に移転オープンした石川県アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」と連携し、石川県特産品の販売促進や観光PR等を実施

- ・石川県特産品の試食と「八重洲いしかわテラス」の紹介
- ・能登の郷土芸能「御陣乗太鼓」および石川県観光PR動画展示
- ・石川県と三重県の「日本酒飲み比べセット」の販売 など

➤ 「買って応援！石川県in三重テラス」(4月27日~29日)

ゴールデンウィークイベントとして、輪島塗の展示販売や石川県特産品の試食販売等を実施

- ・輪島塗の展示販売、歴史文化等のパネル展示や製造工程の動画展示
- ・石川県特産品(お菓子、能登牛加工食品、加賀棒茶、輪島塩飲料など)の試食販売

【お客様の声】

- ・輪島塗の奥深さや伝統の重みを感じるとともに、大切に守っていく必要があると実感した



石川県特産品の試食と「八重洲いしかわテラス」の紹介



輪島塗の展示(協力:輪島市漆器商工課)

DATA

令和5年9月16日のリニューアルオープン後の実績

- ・対令和4年度同期比(R4.9.16～R5.3.31)で、来館者が8,122人減(97%)、売上が22,053千円減(84%)となりました。
- ・対令和元年度同期比(R1.9.16～R2.3.31)で、来館者が80,207人減(76%)、売上が29,014千円減(79%)となりました。

「三重テラス」の来館者数及び売上額の状況

1. 三重の魅力体験者の状況

(単位：人)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6(4月～5月)	累計
ショップ	77,471	78,793	50,862	63,168	83,271	61,990	11,576	427,131
レストラン	29,743	29,130	11,459	10,470	11,421	14,048	3,664	109,935
コミュニティスペース	66,650	80,921	13,400	13,420	31,740	34,705	6,226	247,062
その他	10,987	18,799	150	715	3,835	7,390	1,687	43,563
合計	184,851	207,643	75,871	87,773	130,267	118,133	23,153	827,691

2. 売上状況

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ショップ	60,616	103,695	142,438	149,547	137,547	139,839
レストラン	46,030	96,513	106,107	114,137	105,419	114,463
合計	106,646	200,208	248,545	263,684	242,966	254,302

(税込・単位：千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6(4月～5月)	累計
	141,342	98,891	115,064	155,547	121,480	21,082	1,387,088
	114,967	42,628	44,786	62,046	43,845	9,895	900,836
	256,309	141,519	159,850	217,593	165,325	30,977	2,287,924

3. 来館者状況

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
三重テラス来館者	275,243	566,521	674,256	743,074	668,847	575,591

(単位：人)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6(4月～5月)	累計
	600,557	283,613	322,579	434,837	348,348	71,137	5,564,603

- * 数値は速報値であり、今後修正が生じる可能性があります。
- * 端数処理の関係上、合計が一致しない部分があります。
- * R5.7.18～R5.9.15はリニューアル工事等に伴い休館しました。

(6) 各種審議会等の審議状況の報告について

(令和6年2月19日～令和6年6月2日)

(雇用経済部)

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和6年3月1日(金)
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之 ほか4名出席
4 諮問事項	・「(仮称)ぎゅーとら新浦の橋店」(伊勢市)の新設に係る届出について
5 調査審議結果	「(仮称)ぎゅーとら新浦の橋店」(伊勢市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、駐車場の運用及び安全について更なる確認の必要があることから、継続審議することとなりました。
6 備考	・次回審議会は令和6年3月14日(木)に行う予定である旨連絡しました。

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和6年3月14日(木)
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之 ほか4名出席
4 諮問事項	・「(仮称)ぎゅーとら新浦の橋店」(伊勢市)の新設に係る届出について(2回目)
5 調査審議結果	「(仮称)ぎゅーとら新浦の橋店」(伊勢市)の新設に係る届出について(2回目) 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。
6 備考	・次回審議会は令和6年4月以降に行う予定である旨連絡しました。

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和6年4月26日(金)
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之 ほか3名出席
4 諮問事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)ラ・ムー多気店」(多気町)の新設に係る届出について ・「ドラッグコスモス新正店」(四日市市)の新設に係る届出について
5 調査審議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)ラ・ムー多気店」(多気町)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。 ・「ドラッグコスモス新正店」(四日市市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。
6 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・次回審議会は令和6年7月以降に行う予定である旨連絡しました。